

第2期介護保険事業計画の策定について (その2)

先月から、松前町の介護保険の状況や将来推計などをお知らせしていますが、今回は、計画の見直しの状況をお知らせします。

① 推計人口の予測

介護保険の対象者となる65歳以上の人口を推計します。松前町の平成15年度から平成19年度までの推計人口は、次のとおりです。

(単位:人)	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
40歳未満	13,828	13,726	13,629	13,521	13,413
40～64歳	11,051	11,039	11,028	10,957	10,885
65～69歳	1,841	1,826	1,811	1,862	1,912
70～74歳	1,706	1,732	1,758	1,745	1,731
75～79歳	1,347	1,409	1,470	1,493	1,517
80～84歳	817	868	920	968	1,016
85歳以上	711	737	762	807	853
65歳以上	6,422	6,572	6,721	6,875	7,029
合計	31,301	31,337	31,378	31,353	31,327
高齢化率	20.5%	21.0%	21.4%	21.9%	22.4%

高齢者人口は、年々増加しますが、65歳から74歳までの前期高齢者の増加よりも75歳以上の後期高齢者の増加が大きくなります。

このことから、何らかの病気やけが、加齢に伴う要介護状態になる方の増加が予想されます。

② 推計要介護認定者の予測

松前町の高齢者のうち、何らかの介護が必要か、生活の支援が必要のために要介護認定を受けると見込まれる人数は、次のとおりです。

(単位:人)	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
65歳以上人口	6,422	6,572	6,721	6,875	7,029
要介護認定者数	1,036	1,082	1,142	1,206	1,270
要支援	121	127	136	145	154
要介護1	346	363	385	407	430
要介護2	161	167	176	185	194
要介護3	122	127	134	142	150
要介護4	151	157	164	172	180
要介護5	135	141	147	155	162
認定率	16.1%	16.5%	17.0%	17.5%	18.1%

要介護認定者では、もっとも増加が見込まれるのが要介護1と認定される方で、それ以外の区分では同じ程度の増加割合を見込んでいます。

要介護度が上がるにつれて、介護の必要度が高くなるために、介護サービスの必要量が多くなり、それに伴って保険から給付する額も増加します。

認定者の予測の方法は、65歳から69歳、70歳から74歳など年齢区分ごとの要介護度の発生率をもとに推計します。

③ 施設サービス利用者の見込み

特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設の3施設で、それぞれどのくらいの要介護者がサービスを受けることになるかを見込みます。(在宅サービスに比べて一人当たりのコストの高い施設サービスの利用者が多ければ多いほど、保険料は高くなります。)

松前町の施設利用者の見込みは、次のとおりです。

区分	平成14年7月	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数合計	203	206	206	210	211	212
高齢者人口比	3.19%	3.21%	3.13%	3.12%	3.07%	3.02%
特別養護老人ホーム	83	85	85	86	87	88
老人保健施設	80	80	80	83	83	83
介護療養型医療施設	40	41	41	41	41	41

施設利用者の見込みは、最新の利用者の状況や待機者の状況(平成14年7月)と新しい施設の整備の必要性を勘案した建設計画をもとに見込んでいます。

施設の利用は、他市町村の施設も利用できるために、近隣の市町村との調整も必要になりますので、今後変更することもあります。

施設利用者が65歳以上人口の概ね3.2%となることを標準として、松前町の実情に応じた見込みです。